

パブリックコメント資料

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画 (案)



浦添市 市民部経済文化局 文化スポーツ振興課

都市建設部 美らまち推進課・新施設建設室

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

目 次

1 はじめに		4-6 県内類似施設の視察	p.66
背景	p.2	4-7 国等の取組	p.67
2 浦添運動公園再整備について		4-8 市民等の意向と各調査の関係性	p.68
2-1 浦添運動公園の概要	p.4	4-9 再整備に向けての課題及び解決策	p.73
2-2 新市民体育館整備事業に伴う影響	p.6	5 再整備の方針	
2-3 浦添運動公園再整備について	p.8	5-1 浦添運動公園の将来像	p.78
2-4 基本構想・基本計画策定の流れ	p.10	5-2 浦添運動公園の再整備の方針	p.81
3 現状及び取り組むべき方向性		6 ゾーニング・動線計画	
3-1 アクセシビリティ	p.14	6-1 利用者の利用状況・意向	p.84
3-2 浦添市の人口と観光客推移	p.15	6-2 ゾーニング	p.88
3-3 利用者の視点からみた運動公園の現況	p.16	6-3 動線計画	p.89
3-4 施設の視点からみた運動公園の現況	p.26	6-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針	p.90
3-5 財政・予算の視点からみた運動公園の現況	p.30	6-5 施設別整備の方針	p.99
3-6 スポーツ行政の視点からみた運動公園の現況	p.31	7 運営管理計画	
3-7 取り組むべき方向性	p.39	7-1 民間活力の活用の方針	p.110
4 再整備に向けての課題及び解決策		7-2 運営管理手法の検討フロー図	p.111
4-1 市民等の意向アンケート調査	p.42	8 今後のスケジュール	
4-2 利用者の動向（ビッグデータ分析）	p.48	8-1 今後のスケジュール	p.113
4-3 関係機関等ヒアリング	p.57	8-2 ロードマップ	p.114
4-4 関係部局ヒアリング	p.59		
4-5 民間活力の活用に関する先進事例調査	p.61		

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

1 はじめに【背景】

浦添運動公園は、平成3年4月の供用開始より、本市のスポーツの拠点として市民の体力増進やレクリエーション活動の場となり、長年にわたって地域住民の方々をはじめ、多くの市民・県民の皆さまから幅広くご利用され親しまれている公園です。

また、プロ野球球団の東京ヤクルトスワローズの春季キャンプ地として活用されており、多くの県外の方々もキャンプの観戦に訪れています。



浦添市民体育館



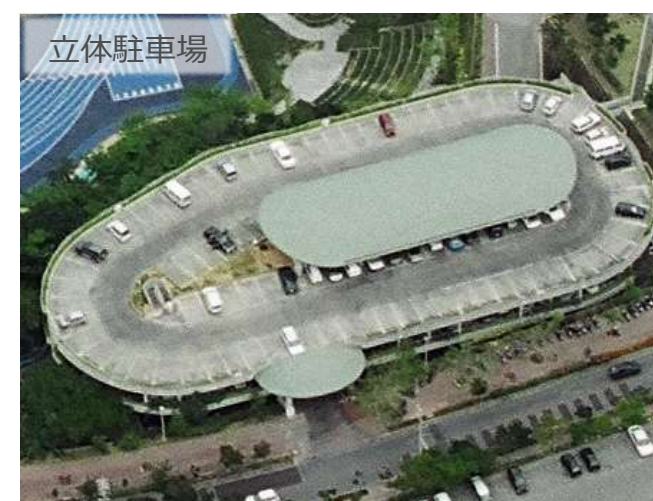
浦添市民球場



一方で現市民体育館は整備後約35年を経過し、一部老朽化や雨漏り等の不具合が生じており、今後の更なるスポーツ振興としての役割を果たしていくには難しい状況となっています。

このため、現市民体育館と機能分担を図りつつ、更なるスポーツ振興等の推進に向けて新たに（仮称）浦添市多目的運動施設整備事業（新市民体育館）に取り組んでいますが、当該事業により、近接する陸上競技場や園路、立体駐車場などの施設に影響が生じています。

これら影響による課題を解決しつつ、すべての市民が「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができ、また、トップアスリートと市民の交流、参加者同士の交流など、スポーツコンベンションの推進を図るため、運動公園の再整備が求められています。



浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

2 浦添運動公園再整備について【2-1 浦添運動公園の概要】

- 浦添運動公園は平成3年に供用が開始された。敷地面積は14.6haで公園内には陸上競技場、市民体育館、市民球場、多目的屋内・屋外運動場、相撲場、温水プールまじゅんらんどなどの施設があります。

浦添運動公園概要

施設概要

陸上競技場、市民体育館、市民球場、多目的屋内運動場、相撲場、温水プールまじゅんらんど等の施設がある運動公園。浦添市のほぼ中央に位置し、国道330号に隣接しており道路網としてのアクセス性、路線バスの利便性を活かし、中部圏域におけるスポーツ拠点、地域交流の憩いの場となっており、またてだこまつりやてだこウォーク、沖展等のイベント開催も数多く行われている。

所在地 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間 1 丁目 1 3 - 1

竣工 浦添運動公園：平成3年4月1日（供用開始）

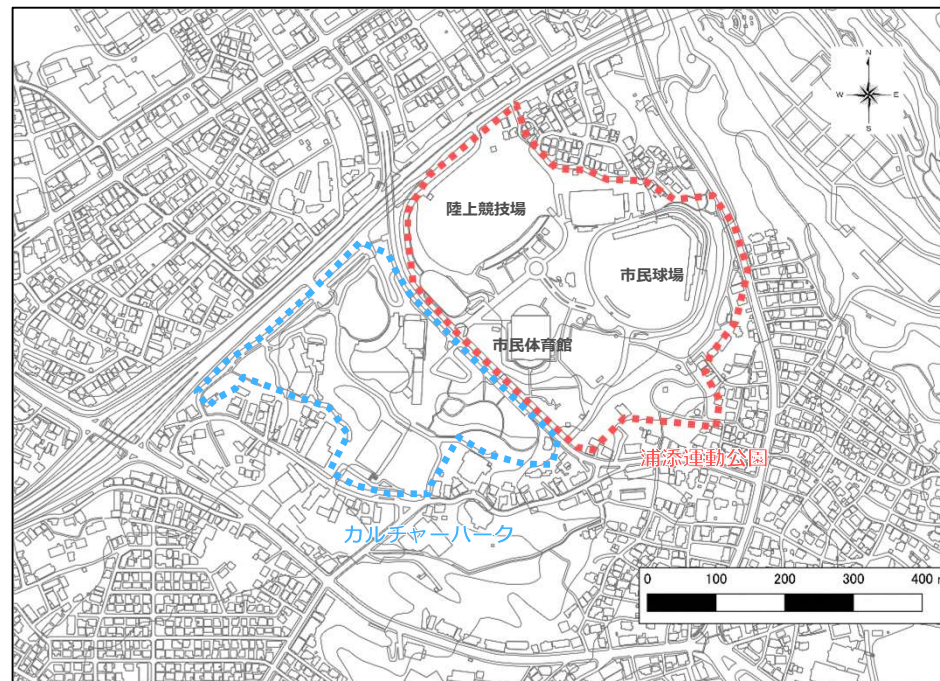
公園種別 都市公園（運動公園）

供用面積 浦添運動公園：14.6ha

交通アクセス バス、モノレール、シェアサイクル等

浦添カルチャーパークについて

- カルチャーパーク内には、浦添市てだこホール、図書館、美術館、てだこ広場等があり、運動公園に隣接してハーモニーセンター、社会福祉センター、保健相談センターがあります。
- また、浦添カルチャーパークと、浦添運動公園は、広域避難場所でもあります。



2 浦添運動公園再整備について【2-1 浦添運動公園の概要】



浦添運動公園再整備基本構想・基本計画（案）

2 浦添運動公園再整備について【2-2 新市民体育館整備事業に伴う影響】

- 既存市民体育館の老朽化や空調設備の未整備等の様々な課題を解決するため、新たに多目的運動施設（新市民体育館）の整備が進められています。

○新市民体育館の整備計画の方向性

- 「する」スポーツだけでなく、「観る」スポーツの場を意識した施設整備
- 既設市民体育館との役割分担
- プロスポーツやトップリーグ等の開催・観戦ニーズに応えた機能整備
- MICEイベントやeスポーツ等のイベントへの対応
- アリーナや観客席、トイレ等の運動・便益施設のバリアフリー化
- 地形の高低差を利用した施設整備（陸上競技場利用者用のスペース整備等）

○新市民体育館等の整備方針

- 二つの拠点機能の相互補完による多様な利用シーンへの対応
- 競技場スタンドと新市民体育館の一体化による効果的・効率的な施設整備
- 多様な屋内スポーツ・大会ニーズ等に対応できるアリーナ・観客席の整備
- 誰にでもやさしい施設環境の整備
- 災害時避難所としての機能の充実

施設概要（建築概要）

計画地	浦添市仲間地内
用途地域	第一種低層住居専用地域※
延べ面積・ 建築面積	延べ面積：約12,500㎡、建築面積：約6,700㎡
高さ・階数	約28m、地下2階・地上3階建て
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
配置計画	陸上競技場、既設市民体育館等の各施設との機能の相互補完や効率的な土地利用を図るため、老朽化が進む陸上競技場の観覧席部分と一体化
平面計画	<ul style="list-style-type: none"> 地下2階は陸上競技場と同レベルとし競技場の形態を保持 地下1階は競技場観覧場と同レベルで計画、本施設建設に伴い現在の観覧席が解体されることから一部屋外観覧席を配置計画 市民体育館の解体等を考慮し機能回復の観点から武道場を計画 1階は46m×60mのアリーナのほか、メインエントランスホール、会議室等、2・3階には固定席を約2,000席設置、観客席は、1階アリーナの仮設席を含め、約3,000席を整備予定



※建築基準法において、用途地域で定められる建築物の用途及び絶対高さの規定に関して、特例の許可が必要となる。



- ・新市民体育館整備事業に伴い、周辺の施設等に影響が生じます。
（陸上競技場メインスタンド（一部を除く）、中央園路及び立体駐車場の連結路の解体・撤去など）

【陸上競技場】

- ・新体育館整備に伴い減少する陸上競技場の観客席の確保
- ・新体育館整備に伴い減少する緑の保全、創出



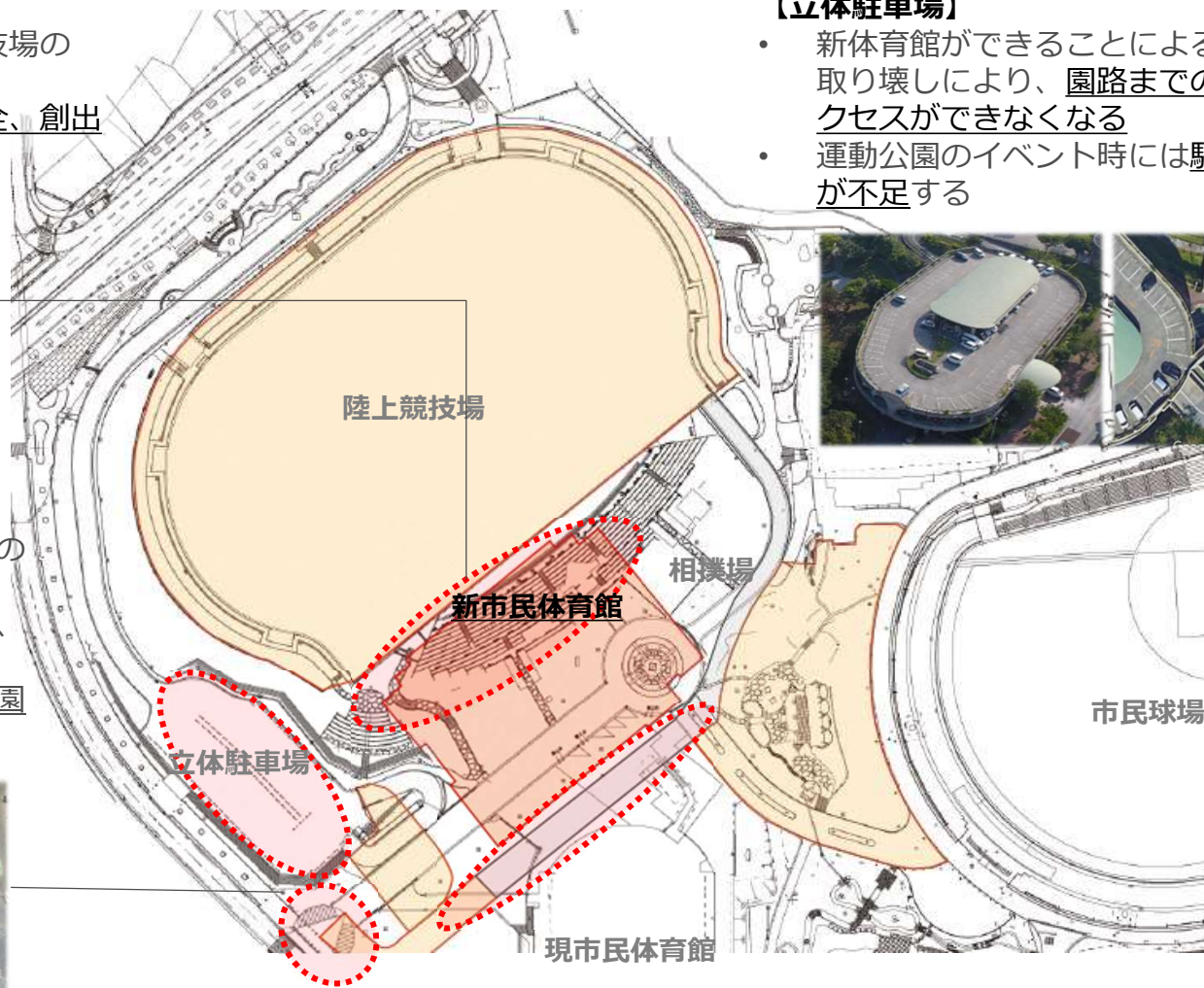
【正面入口・中央園路】

- ・園路の付け替えによる正面入口の位置
- ・正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失による園内の分かりやすさの低下
- ・道の勾配やバリアフリーへの配慮など、地形的な制約
- ・広域避難場所として、機能充足出来る園路構成の確認



【立体駐車場】

- ・新体育館ができることによる連結部分の取り壊しにより、園路までの物理的なアクセスができなくなる
- ・運動公園のイベント時には駐車スペースが不足する

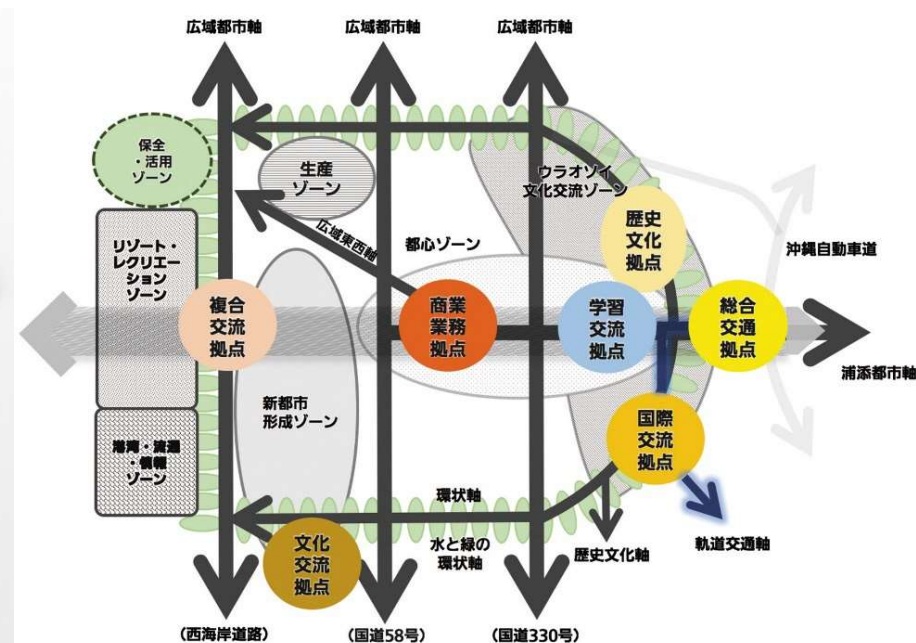


① 浦添運動公園再整備事業の目的

ウラオソイ文化交流ゾーンの学習交流拠点である浦添運動公園（ANASPORTSPARK浦添）の再整備を行い、スポーツ・観光等を通じた市民や事業者、来訪者等の多様な交流・賑わいを促すための観光交流拠点形成を図り、観光誘客数の増大等による運動施設利用者数の増を図る。



浦添市 土地利用計画図



浦添市 都市空間図

② 事業等の取組内容

那覇空港や県内各地からのアクセス性に優れた浦添運動公園（ANASPORTSPARK浦添）内において、スポーツを通じた観光交流拠点の形成に向けた機能強化を図るため、体育館施設等の整備を実施する。

【ソフト面の取組】

- ・ 浦添運動公園再整備に関する基本構想・計画策定業務
- ・ 浦添運動公園の運営管理手法検討業務

【ハード面の取組】

- ・ 「観るスポーツ」の施設整備に関する実施設計、工事
- ・ 陸上競技場の整備に関する基本設計、実施設計、工事
- ・ 周辺環境（園路等）の整備に関する基本設計、実施設計、工事



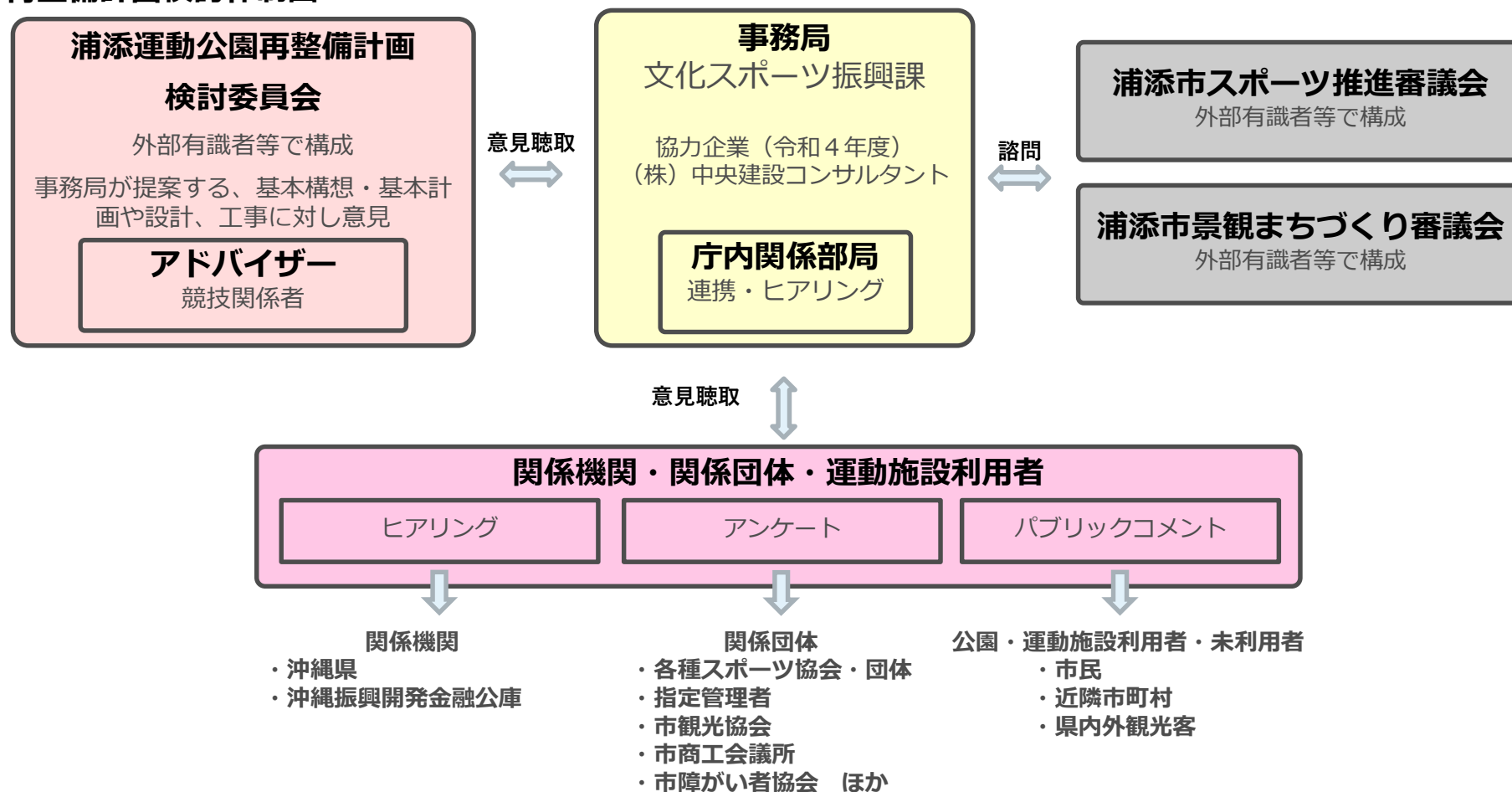


2 浦添運動公園再整備について【2-4 基本構想・基本計画策定の流れ】

① 基本構想・基本計画策定の体制

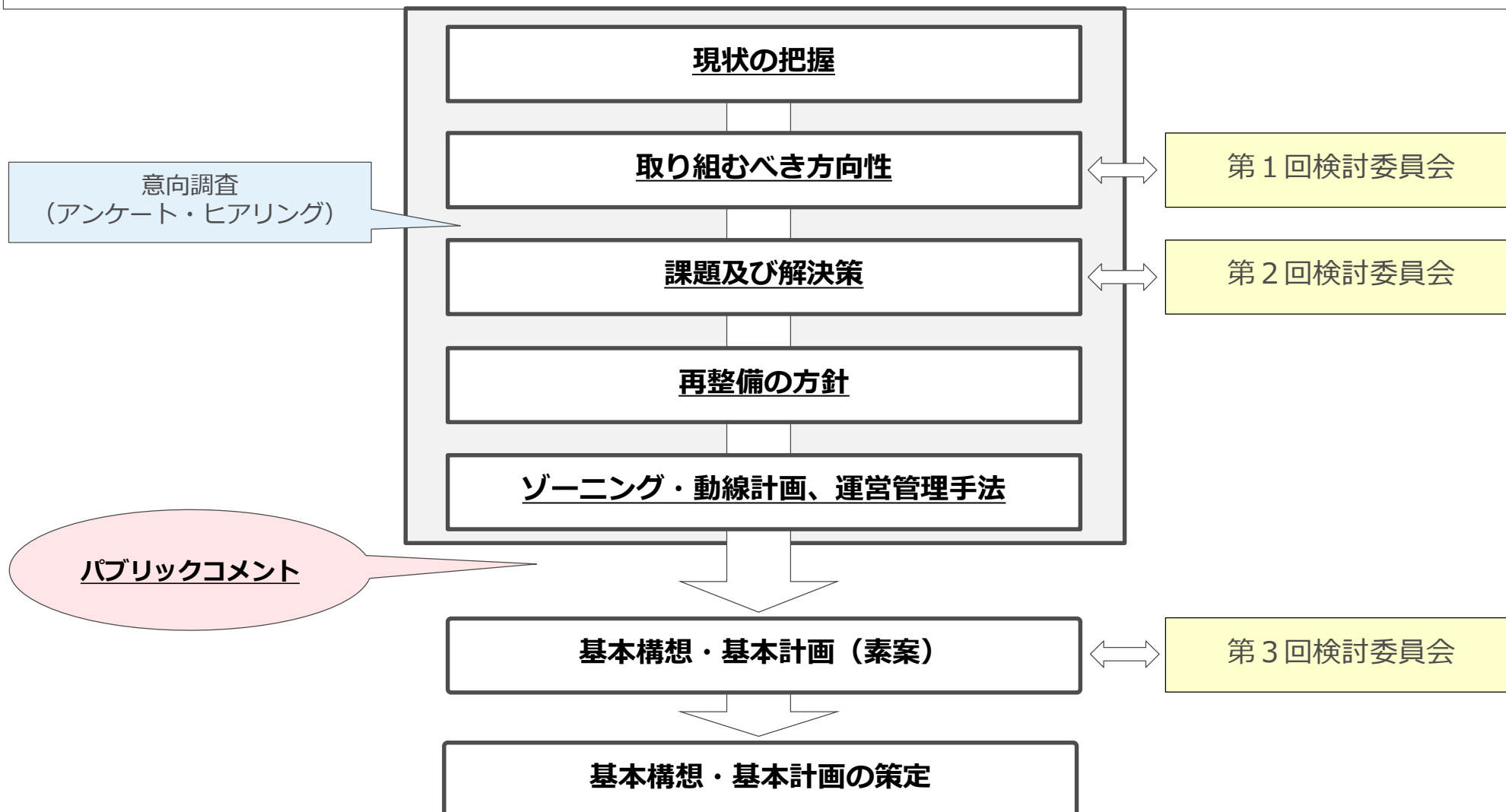
- 浦添運動公園の再整備を行うにあたり、その指針となる基本構想・基本計画を策定します。策定にあたっては庁内の関係部局で検討、協議を行うとともに、外部有識者で構成する「浦添運動公園再整備計画検討委員会」からの意見も踏まえながら、市民等や関係団体からのニーズを聴取し、策定を進めます。

図 再整備計画検討体制図



② 基本構想・基本計画策定の流れ

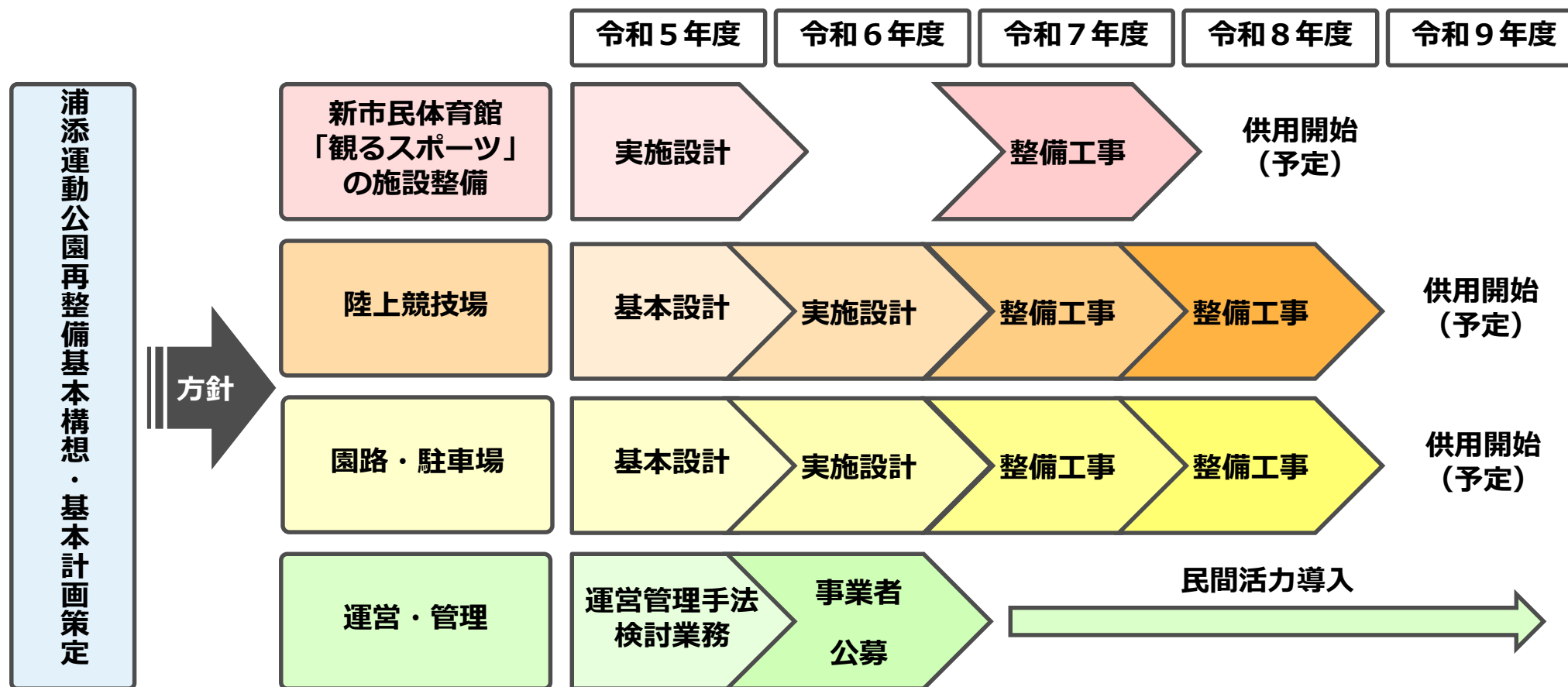
- 基本構想・基本計画の策定にあたっては、再整備計画に関する諸条件の整理を始め、現状の把握や施設利用者等のニーズ調査、課題及び解決策の検討を行い、これら調査・検討結果を踏まえ、施設利用者の需要予測やゾーニング・動線計画等により、公園及び運動施設の整備方針などを取りまとめます。



2 浦添運動公園再整備について【2-4 基本構想・基本計画策定の流れ】

③ 基本構想・基本計画策定後の流れ

- 策定した基本構想・基本計画は、今後の再整備の方針となります。
- 基本構想・基本計画に基づき、「観るスポーツ」の施設や陸上競技場、園路・駐車場の整備、運営・管理手法の検討などを行います。



※上記スケジュールは令和 5 年 7 月時点のものです。事業の進捗状況により内容が変更になることがあります。